

令和4年度第1回食の安心・安全意見交換会の開催結果について

令和4年8月4日
農 政 課

食の安心・安全に関する取組に府民の意見を反映させるため、府内の消費者団体を対象に食の安心・安全意見交換会を開催しており、今年度1回目となる意見交換会を開催しました。

- 1 日 時 令和4年7月21日（木）13:45～15:15
- 2 場 所 京都府農林水産技術センター農林センター
- 3 出席者 消費者団体3団体6名
京都府（農政課、農産課、農林水産技術センター農林センター環境部）4名
- 4 テーマ
 - ・ 「第6次京都府食の安心・安全行動計画」について
 - ・ 京都府における環境にやさしい農業の推進の取組について
 - ・ 農林センターにおける農薬以外の防除技術、緑肥作物を利用する豆類の生産技術について
- 5 概 要

(1) 主な質疑応答

- Q. 農林センターで農薬の試験はしているのか。
- A. 農薬の効果は、地域によって異なるため、全国の研究機関が連携・分担して、登録前の除草剤や殺虫剤、殺菌剤の効果や薬害について試験しており、当所も参加している。
- Q. 農林センターが行った試験研究の結果は、どのような形で農家と共有されているのか。
- A. 農業改良普及センターの役割が大きい。農林センターで試験研究し、ある程度結果が出た技術は、普及センターを通じて農家で現地試験をする。現地試験で良い結果が出れば、農家の口コミや普及センターによる普及により広がっていく。
- Q. 有機農業は手間がかかるというイメージがある。有機農業を増やすにあたり、どのようなことに取り組んでいく必要があると考えているか。
- A. 今後の技術革新の中でスマート農業等を取り入れることで、有機農業は増えていくと考えている。例えば、農林センターの試験研究で、自動収穫装置の研究の結果、病害虫の兆候を早期に識別できるようになってきた。初期段階で病気等を発見することで、農薬を減らしたり、なくしたりできる可能性がある。こういった新しい技術を取り込むことで、有機農業は進んでいくので、農林センターも技術開発を進めていかなければならないと考えている。

(2) アンケート結果

- ア アンケート平均点 4.3点（5点満点）
- イ 主な意見・感想

- ・ 現地を見ながら説明が聞けて大変よくわかった。
- ・ 今後の農業の方向性が見えた気がした。
- ・ 京都府は消費と生産が少し離れていると感じる。今後も生産について学べる意見交換会を開催して欲しい。